

2025年11月

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行
第25号

機械の価値について

先日、私の大得意先で長年お世話になっているある会社様より機械の注文を頂きました。当初は既存機(15年選手)を出しての更新案件でしたが、まだまだ元気に働いてくれる機械でしたので、工場レイアウトを変更しての増設となりました。その際に、15年選手の買取査定をしたところ、購入時の価格の4割弱の値段が付き、私もお客様も大変驚きました。

機械の種類にもよりますが、機械は働いてお金を生んでくれ、歳を取っても価値を維持してくれる頼もしい存在です。

日本国内受注数字

2025年9月受注額：約436億円

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**36.8%増**、前年同月比**5.1%増**となりました。

9月は多くの工機メーカーの中間決算月である為、受注活動の追い込み強化、お盆休みで受注が下がる8月からの反動で前月比プラスになる傾向です。内訳では、ほぼ全ての業種で前月比プラスを記録し、特に航空機関連は前月比**2倍以上**、前年同月比では**3倍以上**の大きな伸びを見せました。電化製品、金型関連の受注も非常に好調でした。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

Email : contact@bsmt.co.jp

2025年9月 米国工作機械受注について

2025年9月米国機械受注額

\$493.1million(約764億円／\$1 = ¥ 155換算)

前月比**7.2%減**、前年同月比約**11%増**となりました。

2025年1月から9月までの機械受注総額は39億300万ドル(約6,090億円)となり、前年同期比で**17.3%**の増加となりました。

前月比ではマイナスになったものの、9月に前年同月比プラスとなつたのは2011年以来で、更に2011年はシカゴショーが開催されており、ユーザーの発注マインドは平時より高い状態でした。

受注額は高い水準にありますが、受注台数は鈍化しており、2009年以来の9月としては2番目に低い数字を記録しました。



自動車関連の受注は2025年内で最高水準に達したものの、受注台数は今年3番目に低い水準でした。2021年・2022年に大規模投資が行われた後、停滞していましたが、一部のOEMが電気自動車生産の為のラインからガソリン車製造の為のラインに転換を始めた為に今年は昨年に比べ15%近い伸びを記録しております。

製造業の堅調さが残り3ヶ月も継続するかが注目されております。
(AMTレポートより)

2025年10月 米国自動車販売台数(新車)

2025年10月米国新車販売台数は前年同月比**5.2%減**の**127万2,043台**でした。

季節調整済み年率換算販売(SAAR)は1,540万台/年(前年同月1,621万台)でした。※米国では**1,700万台/年**を超えると自動車販売が好調とされております。

電気自動車(EV)購入に対する連邦税額控除の9月末打ち切りに伴う駆け込み需要からの反動をもろに受けた10月となりました。

更に悪いことに、アルミ大手ノベリス(Novelis)の工場火災、ネクスペリア(Nexperia)の半導体供給問題などにより、既に北米では工場の稼働休止や生産調整が始まっています。これらの問題が長期化した場合はサプライチェーンが大きな混乱に陥り、再び在庫減に向かう可能性が危惧されています。

10月初旬の総在庫台数は前月比4.0%増の287万台で、10月中旬には296万台まで増加した。

9月末の在庫日数をブランド別でみると、在庫が少なめだったのは、米国ブランドではダッジ33日、日系ブランドではトヨタ、レクサス、三菱がいずれも27日、韓国ブランドでは起亜30日、欧州ブランドではBMW30日でした。在庫が多めだったのは、米国ブランドではラム87日、リンカーン80日、フォード79日、ビュイック72日、ジープ65日、GMC61日、日系ブランドではアキュラ83日、日産60日、欧州ブランドではVW83日でした。それ以外では、米国ブランドはシボレー54日、キャデラック48日、日系ブランドではインフィニティ53日、マツダ52日、ホンダとスバルが49日、韓国ブランドでは

ジエネシス56日、現代55日でした。

日本車の10月販売は、トヨタが前年同月比11.8%増で2ヶ月連続で2桁増となりました。9月に続きRAV4やグランドハイランダーなどの販売が好調だった一方、EVのbZ4XとレクサスRZは90%を超える減少となりました。10月のEVの販売はトヨタとレクサスを合わせて前年同月比50%近い減少となりました。EVのプロローグが80%を超える減少となったホンダは、好調なハイブリッド車(HV)の販売により0.7%の微増となりました。その他の日系ブランドはいずれもマイナスで、スバルのEVソルテラは99%減とほぼ販売停止に等しいレベルとなりました。(マークライズより)

☆新製品情報☆ ニデックオーケー(株) 製 立形マシニングセンタ『VN5』

ニデックオーケー(株)より新機種のご紹介です。今回の機械は設計から全くの新しいモデルになります。

コンセプトは「手の届く価格で、使いやすく高精度な機械」になります。ローラーガイド、モーター直結主軸、標準で全軸スケールファードバック機能付の構成で、同社の高剛性MC『VMシリーズ』のようにバリバリ削ることは難しいですが、一般的な部品加工では必要以上の剛性及び精度を有しております。

本機はニデックグループの力を結集したモデルとなっており、コスト削減の為に機械の荒組を台湾TAKISAWAで行い、長期間の高精度加工を維持する為にニデックマシンツール製スケール(MPスケール)を標準装備しております。

機械価格が高騰している現在において、1,500万円(税別)を切る価格を実現しております。

また、新発売特別キャンペーンを**15台限定**で行っております。ご興味のある方は当社にお問合せください。



制御装置：Fanuc Oi-M F Plus

テーブルサイズ：1050×510mm

移動量(X/Y/Z)：920/510/460mm

主軸端形状：BBT40(ダイレクトドライブ)

主軸回転数：100～12,000min⁻¹

ご興味のある方は、まずは当社に見積依頼を！！

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械

検索



青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満39歳)

2009年 (株)兼松KGK 入社

2010年

↓ 同社新潟営業所勤務

2016年

2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社

2017年

↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向

2020年

2021年 ユアサ商事(株) 入社

↓ 同社新潟支店勤務

2024年

2024年 (株)青空機械 設立

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせてください。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！